



# 名古屋いのちの電話

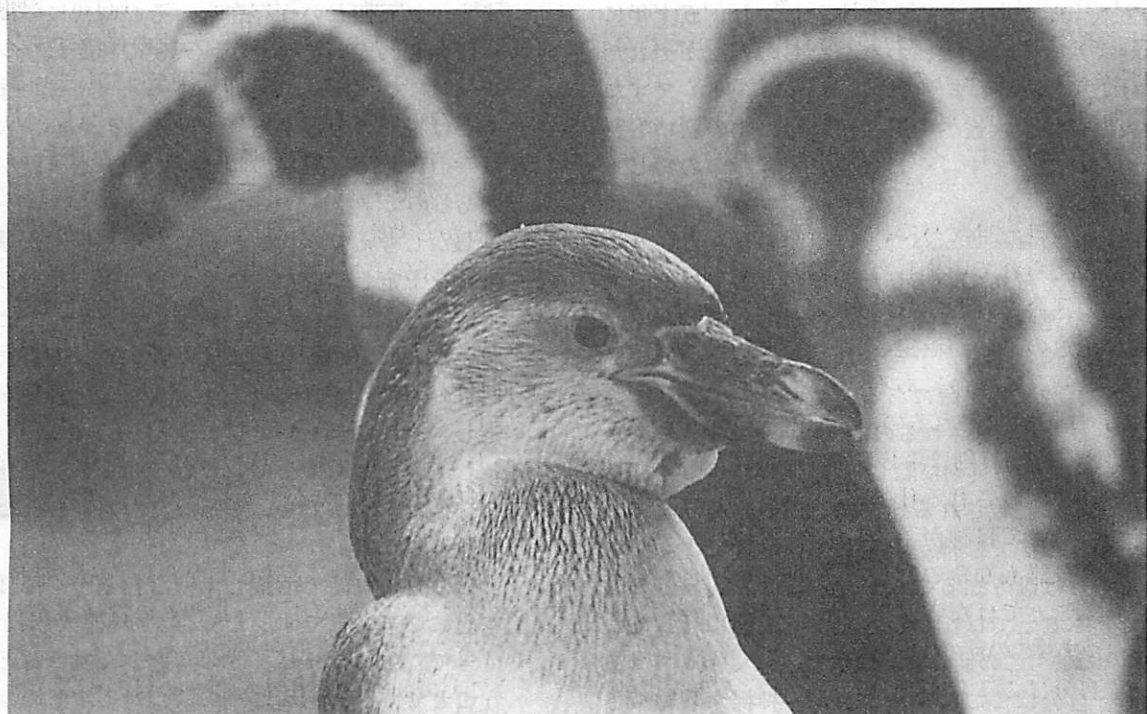


写真 文 珠 幹 夫

ペンギんの子が生まれた

川 崎 洋

ペンギんの子が生まれた

父さんと母さん

それぞれのおじいさんとおばあさん

さらにはひいじいさんとひいばあさんと

ほんの二五代さかのほっただけで

この子の両親を始めとする先祖の総計は

六七一〇万八千八百六二羽になる

そのうちのどの一羽が欠けても

この子はこの世に

現れなかった

ペンギんの子が生まれた

「ワンダフルライフ 地球の詩」より

(小学館発行)



## いのちへの約束

愛知いのちの電話協会 広報委員 三本木 國喜

人生五十年と昔は言われました。今なら、人生八十年というところです。しかし、五十年にせよ八十年にせよ、わたしたちの人生がそれだけで終わってしまうのは、いかにも空しいですね。人間には、永遠へのあこがれが、誰の胸にも秘められています。それは夢にすぎないのでしょうか。

中世のヨーロッパで、「生命の書」というものが考えられていました。神のもとには、一人一人の運命を書き記したものがあって、ある人には永遠の生命が予定され、そうでない人は、いずれ滅びる運命にある、というのです。それにちゃんと記載されるのは、一体どんな人なのか、ということが真剣に論じられました。

そこに記載される仕方に、二通りあります。一つは、すでに神が予定している者です。しかしそれは誰も知ることができません。自分の力で及ぶことではないからです。天国に行ってから（つまりこの世の旅を終えてから）、初めて「ああ、自分はここに来ることが、神様から約束されていたのだ」と知るのです。

もう一つは、「あなたはそこに記載されることが可能です」とされる者です。そうすれば天国に行けるのですから、みんながそれを望むでしょうね。一生懸命に努力もするはずですが。

しかし、望みが叶えられるのは、どんな人でしょうか。実を言うと、これは原則として、誰でもそうなのです。

ところが、中にはそこから外されてしまう人もいます。どうして外されるのかと言うと、せっかく神様が可能性を与えてくれたのに、自分のわがままで、その神の恵みに背を向けると、そうになってしまうのです。

でも、人生には「敗者復活戦」というものがあります。これもまた、原則として誰でもそれに臨むことができます。しかも一度だけでなく、

七回の七十倍の回数まで、チャンスが与えられます。（天使という存在も、その時代に学問的に研究されていましたが、天使の運命はワン・チャンスで、あっという間に決まってしまう。あとは挽回の余地がありません。しかし、人間は幸いにして、臨終の時までいつでもチャンスがあるのです。）

しかし考えてみれば、初めから神様が永遠の生命を予定していたという人も、本当は七の七十倍もしくじりながら、最後にようやくたどりついた人なのかもしれません。つまり四百九十回目の頑張りでもゴールインすることを神様が予定し、それにチャレンジできたら、どうぞいらいっしょい、と約束していたのでしょうか。意地悪な神様ですが、でも、頑張ったかいがあったというものです。

いのちの電話で活躍している皆さん、毎日、本当にご苦労様です。たくさんの電話がかかってきて、中にはリピートの常連さんもいるということですが、それに一つ一つ対応するのは、大変な仕事だと思います。

でも、どうか神様に代わって、一人の相談者に四百九十回もの話をしてあげてください。

あるいは、ひょっとしたら、電話の向こうにいる相手は、実は神様なのかもしれません。

「苦しんでいるこの小さき者にあなたがしたことは、わたしにしたことなのだ」とキリストは言いましたが、悩みの電話の主はキリスト自身なのかもしれませんね。そう思うと、いのちの電話は本当に大切な仕事です。

（「生命の書」について、簡単によくまとまっている文献は、今から750年前のトマス・アクィナス『神学大全』です。そのテーマの部分をおわたしが翻訳した現行がありますので、もしご希望ならコピーを差し上げます。）

（「愛と希望の会」代表幹事）

しばらく前から、陰陽師がブームである。その大半は、安倍晴明にスポットを当てたもので、京都にある晴明神社への参拝者が増えているらしい。安倍晴明を物語る中に、しばしば『呪』なる言葉が出てくる。曰く、『この世で最も短い呪は名ではないか。全ての事象は名を付けられることで名という呪（縛り）をかけられ、その名に相応しいものになる』

このような視点で私達の生活を見直すと、実に多くの名に囲まれていると感じる。品物や動物など物体として在るもの、天候、状態、そして客観的判断が難しい人間の感情や感覚にも名が付けられている。私達は日々の生活の中で、名を口にし耳にし、名をイメージもろとも自分のものにしていくことを繰り返している。陰陽師流に考えると、名すなわち言葉の持つ力を感じずにいられない。

さて、近年「精神分裂病」に対する呼称変更が検討されている。精神分裂病という言葉で想起されるイメージは、おそらく「精神の分裂」からくる強烈なものであろう。精神科医である私自身、この病名を告げねばならない時には強い躊躇いや葛藤を感じる。インフォームドコンセントが当たり前となった現在でも、精神科領域において病名告知の問題は消えてはいない。精神分裂病なる病名は、言葉の持つ力をまざまざと見せつけていると言えるのではないだろうか。

精神分裂病の新呼称については、既に一部マスコミで報道されているが、ここで改めて日本精神神経学会・精神分裂病の呼称変更委員会の見解を述べたい。

一般に疾患の命名にあたっては、概ね次のような原則がある。

## 病気の呼称

— 陰陽師ブームを通して —

新  
畑  
敬  
子

1. 原因
2. 中心症状・所見
3. 疾患のメカニズム
4. 侵される機能・臓器
5. 地名など
6. 人名
7. 記号

1～7について、その疾患の特徴を表し、他の疾患と区別できること。

精神分裂病について言うと、まず上記1～3に関しては定説がないこと、4については他の精神疾患との区別ができないことなどから、スキゾフレニア、クレペリン・プロイラー症候群が候補として挙げられている。また精神分裂病の原語 Schizophrenia (schizo=分裂、phrenia =横隔膜、精神) の schizo を別の日本語に翻訳する。さらに、精神という言葉が人格全体の障害という意味にとられるため、精神を省略した形である統合失調症。この3つが現在での新病名候補である。しかし、いずれの候補にも一長一短があり、有識者や一般市民の意見を参考に、今後もさらに検討する予定である。

病名は病気を表す呼称であって、その人自身を表すものではない。にもかかわらず、病名によって、病気以上の苦痛や社会的不利を被っている人は少なくない。およそ、病名に関しては、陰陽師の言う『名を付けられることで名に相応しいものになる』であってはならない。そして名により、私達自身が病名を字面だけで捕らえて、イメージで病気を理解しないことが大切であろう。病気の呼称変更は、病名と、その病気を持つ人とを一緒くたに考えないことを私達に求めているとも言えるだろう。

(名古屋市中区精神保健福祉センター  
社会復帰指導係 精神科医)



窓



## 自殺予防「いのちの電話」

9月21日と22日に大阪で開かれた「全国いのちの電話・事務局長会議」は、その10日前に起こった米同時多発テロ事件で、誰の胸にも何かと動揺した気持ちがあったようだ。それが原因とも思われないが、会議での長い協議の末に決まった唯一の事項というのは、12月1日から始まる「自殺予防週間」に使うネーミングだけであった。いみじくも、T.S.エリオットは、「猫」に名前をつけるのが難しいといい、漱石の「猫」は名前のないまま死んでしまったことを思えば、この「自殺予防いのちの電話」という名称だけでも決まったのであるから、これは良しとせねばならないだろう。その名前も全国49センターが思いおもいに書き記したのもで、何と35の異なる名前が網羅された。私は「いのちを守るいのちの電話、自殺予防のホットライン」を書いたのであったが、最も多かった「自殺予防いのちの電話」に決ってしまった。(といっても5人の重複で選定されたのであるが。)全国の「いのちの電話」が中心活動となるので、何が何でも「いのちの電話」をネーミングに取り入れたいという思いが働いたらしい。

今年度の警察庁のまとめによれば、昨年一年間の自殺した人は31,957人で、ここ三年連続3万人台を記録した。昨年度の最も多かった自殺

年代層は50～60代で、ほとんどが職をなくしたり、景気の悪さが原因となって自殺をしている。こうしたことから今年より厚生労働省も本格的に自殺防止対策に取り組もうということで、全国自殺予防フリーダイヤルがその一環として動き出したのである。ところがそもそも「自殺予防週間」という厚生労働省の企画がどのようなものであるのか釈然としないので、事務局長会議での「フリーダイヤル実施」に向けての協議事項と謳っても、何をどう討議すればいいのかほとんどの出席者には判らなかつたらしい。フリーダイヤルというのは、かけ手にとっては通話料なしで、繋がらない電話でも全国を網羅してどこかにつないでくれ、自殺念慮の人を対象にするというものである。ところがこのフリーダイヤルというのはあくまでもかけ手が通話料フリーというだけで、それぞれのセンターには無償のボランティアの人たちが24時間悩める相談を受け、それにかかる費用というのが一通話受信する毎に、単純計算すれば約1,400円もかかる。それは年間18,000件の受信に対して、事業費、管理費等、総支出2千万円から割出したもので、意外とお金のかかるものである。厚生労働省の「自殺予防週間」のフリーダイヤルは、一週間の試みではあるが、「いのちの電話」は会期中も又その後も長くながが続くボランティア活動であります。それを可能にするのはひとえに、個人、法人の賛助会費や寄付に負っている。それだけに電話を通して話し合い、少しでもその悩みが解消されればというボランティア一人一人の願いが、恙なく存続させるためには、多くの人たちからの暖かい支援に頼るしかありません。どうかご協力下さい。

(名古屋いのちの電話・事務局長：加藤省吾)

# 東海3県 いのちの電話



## 「岐阜いのちの電話」と私

1990年に「是非岐阜にも「いのちの電話」を！」と熱い想いを抱いて以来、長い道のりを経て1998年5月に「岐阜いのちの電話」は誕生することが出来ました。

当初は19人の相談員で週3日、19時から21時までの開局でしたが、2期生・3期生が研修を終えてやっと毎日の開設にまでこぎつけました。

現在43人の相談員が「眠らぬダイヤル」を目指して活動していますが、岐阜という土地がからかボランティアの確保が困難で24時間受信の実現までには程遠く深夜帯が出来ない。

今しばらくは「名古屋いのちの電話」にお世話になるのかな、と思わざるを得ないのが現状です。

1999年10月には特定非営利活動法人（NPO）登記も行われ、今年5月の3周年記念には、相談員の努力でチャリティコンサートが開かれたことは大きな進歩だと思っています。

財政面も不十分で有給職員もなく、運営に携わるスタッフの全てがボランティアであり、そこには理事も相談員も研修担当者も上下の関係はなく平場で協議が進められるためまとまりが良いともいえますが、このエネルギーがいつまでも燃え尽きることなく引き継がれていくことを祈らずには居られません。

今年1月から8月までの間に2台の受話器によって受信した総件数は、3,023件ですが、性の電話・リピーターが次第に増えてきて相談員を悩ませています。これらの問題は年5回実施される全体研修の課題として取り上げられ、研鑽を積んでいます。

課題を一杯抱えながらも、「日本いのちの電話連盟」の一センターとして、精一杯努力を続けてまいりたいと思っています。（Y. T）

「三重いのちの電話」が仲間に入れていただきました

特定非営利活動法人「三重いのちの電話協会」は、2年間慎重に準備を進めて参りまして、21世紀幕開けの年に全国50番目のセンターとして開局を迎えることができました。東海地方では一番遅い開局となりましたが、順調に今日を迎える事ができましたのは、諸先輩センターのご経験からのご指導とご協力があればこそと感謝いたしております。

5月12日の開局記念式典には、日本いのちの電話連盟理事長樋口和彦先生に「人の心を癒すいのちの電話」という演題でご講演いただきました。ご講演の中で、ボランティア運動は善意の運動ですが、「善意の人が陥る大きな欠陥があるので注意してください」。善意の人は、自分は悪い事をする事が無いと思っています。ですから、善意でやっているつもりが「善意の暴力」になっていることが非常に多いのです。善意の人はそれに気付いていないのです。どうやってそれを知っていくかを学んでください。とお話になり、改めて研修の大切さを教わりました。

現在、1年間の研修を終えたボランティア電話相談員60人が、行政の相談電話が手薄になる夜の7時～10時までの時間帯を毎日交替で担当しています。

開局後3ヶ月の電話相談状況は、1日平均3.8件の受信で、年齢別では10代20代の女性が、相談内容別では保健・医療が多くなっています。中でも精神的な訴えや人間関係が上手くいかないなどの訴えが多くあげられています。このことから、複雑な社会情勢の中で生きにくくなっている方達が増えていることを実感します。また、相談状況から見えますと、まだまだ多くの人に知れ渡っていないという感があります。それには、広範囲な広報活動を展開するとともに、相談員の充実をはかる必要がでてきます。そのために、毎年相談員の募集を行い養成講座を開講出来るよう努力してまいります。そして、相談員が安心して相談に当たれるような組織体制作り心がけ、なるべく早い時期に、毎日24時間対応の三重いのちの電話に成長したいと決意を新たにいたしております。今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。（T. N）

## ご援助ありがとうございます

2001年6月1日より9月30日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同深く感謝いたしますと共に報告を申し上げます。(順不同・敬称略)

なお、上記期間内に何度もご寄付くださった方もお名前は1回にさせていただいております。

社会福祉法人愛知のちの電話協会  
理事長 長岡 利貞  
財務委員会

### 賛助会員A

|          |              |          |         |       |
|----------|--------------|----------|---------|-------|
| 鈴木保子     | 和久英子         | 鳥井寛      | 岩田亮二    | 森宣子   |
| 堤 肇      | 伊藤美江子        | 太田喜久雄    | 田中良子    | 浅井秀明子 |
| 前田勝昭     | 山田正義         | 岩城正光     | 梨本将代    | 岩田圭子  |
| 岩田明      | 鎌田蓉子         | 植松従爾     | 岡田清子    | 岡田庸男  |
| 田畑洋子     | 田上文蔵         | 小笠原覚     | 水谷宣美    | 白田治子  |
| 永井洋子     | 文珠紀久野        | 加藤省吾     | 志村信夫    | 古橋義之  |
| 洪澤直次     | 洪澤治子         | 牧岡恒夫     | 木本精之助   | 高本雅   |
| 中野悦美     | 芝原慶次・ゆかり     | 興 禅 寺    | 専念寺三浦俊彦 |       |
| 興徳寺佐久間敬止 | 知多市看護専門学校自治会 | アベル聖書研究会 |         |       |

### 賛助会員B

|       |       |               |       |      |
|-------|-------|---------------|-------|------|
| 矢満田篤二 | 青木寿美子 | 大隅甲吾          | 堀田正俊  | 横井弘美 |
| 菅和世   | 三浦一秋  | 武藤尋子          | 浅井きみ子 | 入谷直行 |
| 岡部治   | 金子紀子  | 河野登喜子         | 田中節子  | 青山玄  |
| 児玉光雄  | 森川信子  | 前田誠一          | 坂本康信  | 平尾泉  |
| 山田満弥  | 山田久子  | 小谷充子          | 大鳥しず代 | 尾関静枝 |
| 鎌倉勝子  | 飯田和也  | 岩田久夫          | 坂東信吾  | 榎戸佳子 |
| 村瀬政子  | 遠山千寿子 | 日本基督教団鳴海教会婦人会 |       |      |

## 点滴

最近ある雑誌の広告に「日本人はいつ大人になるのか？」というのを見た。就職したとき、裏切りにあったとき、結婚したとき、親になったとき…。真の意味で大人になるとはどういう事なのか。

電話相談の中で子供っぽい利用者(R)の多いのに気付く。自分の置かれている現状にどう対応して良いか解らなくて混乱しているR、学校の成績は良かったのに社会の中で生きることが辛いR。

友達がいらないというRに「友達ってどんな人をいうの?」と聞いてみる。自分のためになる人、自分の事を親身になって思ってくれる人という答。「あなたも同じようにしてあげなければいけないよ。」と言うと「なんで?」と答える。自分が傷ついてこそ他人の痛みがわかる。自分が望まないことは他人にしない。こういった基礎的なことがわからない人達が増えている現実を相談電話を通して知る。インターネットの普及もあって、好きなもの、自分を傷つけないものだけ付き合い、思いを共有してくれない人への働きかけをこぼみ、他者に対して配慮する「大人らしさ」をもたない人々。

自分と他人の異なった立場を理解し、どちらも生かし、時にはずるく、時にはいい加減に、時には妥協的な行動をする。一見不純で悪いことのようにあるが、これが大人になるということである。目と目を合わせて話し、相手の表情を読み、気持ちの動きを感じる。これこそメール交換ではできない人間関係であり、大人への道ではないかと思う今日この頃である。

(N. H)

賛助会員C

|       |       |       |       |        |
|-------|-------|-------|-------|--------|
| 神尾初子  | 五十君和子 | 寺田弘子  | 武嶋米子  | 武嶋惠子   |
| 加藤みゆき | 岡田喜美江 | 鈴村美登里 | 貝沼恭一  | 水野真子   |
| 相馬貞蔵  | 山下たか子 | 小川祐美子 | 高橋郁子  | 林郁子    |
| 土屋美恵子 | 中川晋介  | 鈴木富子  | 岩佐敏志  | 佐々木あつ子 |
| 杉本ひとみ | 林純子   | 飯塚重五郎 | 鶴田和子  | 真木芳子   |
| 梅沢晴美  | 森下眸   | 安立武男  | 野村紘子  | 矢野静枝   |
| 片山悦子  | 山田敦代  | 鈴木和代  | 太田重一  | 鈴木浩之   |
| 武藤智代  | 山川進   | 矢野法子  | 加藤登茂子 | 酒井ゆかり  |
| 野村妙子  | 内柱綾子  | 平野昌子  | 浅野喜代子 | 常富佳子   |

日本福音ルーテル復活教会婦人会

日本キリスト教団南山教会婦人会

寄付金

|       |       |        |       |       |
|-------|-------|--------|-------|-------|
| 佐々木広子 | 太田智恵子 | 鳥山美保子  | 小山恒生  | 岡田清子  |
| 植田きよ  | 見木靖美  | 三田村とま子 | 富田美枝子 | 安藤和彦  |
| 伊藤智美  | 河村公子  | 常富佳子   | 水谷真   | 梶浦和由  |
| 梶原寿   | 大塚博子  | 鈴木ひさこ  | 小宅重雄  | 吉田愛子  |
| 加藤みゆき | 豊田江美  | 渡辺宜親   | 風岡良子  | 水野由吉  |
| 武藤尋子  | 片岡ミチエ | 鈴木智    | 杉浦順平  | 柘植幹夫  |
| 野口博之  | 内河恵一  | 森川信子   | 大獄恒雄  | 森野泰浩  |
| 桐山雅子  | 宇井志緒利 | 中川鋪子   | 兼田元雄  | 浅野恵美子 |
| 守田てる  | 富江真佐美 | 松本勝正   | 岡崎和子  | 佐藤嘉孝  |
| 伊藤恵美子 | 西村清   | 安原律子   | 市川真康  | 水野享好  |
| 武保輝彦  | 水野信子  | 矢野和枝   | 棚橋千珠子 | 下出重雄  |
| 野村純一  | 石田弘幸  | 四日薫    | 佐藤あさ子 |       |

日本福音ルーテル希望教会  
幼き聖マリア修道会  
栄冠幼稚園

愛知西地区教会婦人会連合  
聖霊奉侍布教修道女会  
長松院

カトリック尾西教会  
愛知日野自動車株式会社  
養念寺

法人賛助

|            |                   |
|------------|-------------------|
| 理研産業株式会社   | 東名サニタリー(株)        |
| 名東歯車株式会社   | エイコー              |
| オチアイネクス    | 立松モールド工業株式会社      |
| 高木製作所      | (株)フジトランスコーポレーション |
| (株)みどり造園   | 矢作建設工業株式会社        |
| 東海通信資材サービス | ミヤタコーポレーション       |
| 大畑開発株式会社   | NTT DoCoMo        |
| 株式会社サンゲツ   | 杉山工業株式会社          |
| 川北電気工業株式会社 | 株式会社中外            |
| 株式会社三愛     | 尾張精機株式会社          |
| (株)杉浦製作所   | 中央精機株式会社          |
| 日本ガイシ株式会社  | 小島プレス工業株式会社       |
| 三井屋工業株式会社  | 瀧定株式会社            |
| 株式会社フジキカイ  | ホーユー株式会社          |

年末・クリスマス  
特別寄付のお願い

本年も間もなく、年末クリスマスの季節を迎えようとしています。  
例年この季節に、特に「いのちの電話」の活動のために、特別寄付金を募っております。今年もろしくご協力をお願い致します。

送金先 郵便振替口座 00810-8-53758  
東海銀行大津町支店(普) 477029  
名義 社会福祉法人愛知いのちの電話協会

FREE DIAL

自殺予防「いのちの電話」

フリーダイヤル

東日本 0120-738-556

西日本 0120-739-556

実施期間：2001年12月1日(土) 00:00から

2001年12月7日(金) 24:00まで

基本的にはかけ手の地域にある「いのちの電話」につながります。  
ただし同地域の「いのちの電話」が話し中の場合は、他地域の「いのちの電話」に転送されます。

FLEA MARKET

名古屋いのちの電話

フリーマーケットin東別院2001

名古屋「東別院」本堂境内(中区橘町)

本年もフリーマーケットを以下のように開催致します。

是非ご参加下さい。

1. 2001年11月4日(日) 10時~15時
2. 雨天中止
3. 手持ち出店 一般:2,000円 プロ:5,000円
4. 車出店 一般:4,000円 プロ:10,000円
5. 駐車場代 500円
6. 出店料は全額「いのちの電話」の賛助資金として寄付されます。

賛助会員を募集しています

ご協力をお願いします

いつも資金ボランティアとして会費やご寄付をいただき有難うございます。心から御礼申し上げます。会員の皆様の倍旧のご支援と共に、会員増加の運動にもお力添えを賜りますようお願いいたします。社会福祉法人として寄付金の税法上優遇措置が受けられます。誠に失礼ですが振込票を同封させていただきます。ご利用くだされば幸いです。

- (1) 法人会費 年間5万円・10万円・20万円
- (2) 賛助会員(年間1口) A 10,000円 B 5,000円 C 3,000円
- (3) 一般寄付はご自由な金額で結構です。
- (4) 夏期・年末寄付

口座名 社会福祉法人愛知いのちの電話協会

口座番号 東海銀行大津町支店(普) 477029 郵便振替口座 00810-8-53758

お問い合わせ…社会福祉法人愛知いのちの電話協会

名古屋いのちの電話事務局 ☎ 971-5181

社会福祉法人愛知いのちの電話協会  
名古屋いのちの電話

2001年晩秋

〒461-8691 名古屋東郵便局 私書箱第257号

2001年11月1日発行

事務局 ☎ 052-971-5181

郵便振替口座 00810-8-53758

発行人 長岡 利貞

相談電話 ☎ 052-971-4343

東海銀行大津町支店(普) 477029

編集人 広報委員会

携帯相談電話 NTTドコモ東海「#9556」